



いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

まもなく開校！下新倉小学校

今年4月に待望の下新倉小学校が開校いたします。
12月議会終了後、下新倉小学校建設現場を視察しました。校舎の外観、内部ともに全体像がわかる程度まで工事が進んでいました。小学校というよりも大学の建物のように非常に近代的で驚きました。下新倉地区の発展に大きく貢献することは間違いのないと思います。



平成27年和光市議会12月定例会報告

12月3日～12月21日の期間で12月定例会が行われました。主な議案と審議結果は以下の通りです。
なお、議案と審議結果の詳細は和光市議会のホームページをご覧ください。

(市議会のホームページから「議会情報」の「定例会・臨時会の日程と審議結果」に進んで下さい)

議案(抜粋)	議案の概要	審議結果
和光市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を定めることについて	マイナンバー法に基づき市が独自に個人番号を利用する事務の範囲を規定するもの	原案可決
和光市勤労福祉センターの管理を行わせる指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間が満了することにもない新たな指定管理者を指定。シンコースポーツ・サンワックス共同事業体を新たに指定。期間は平成28年4月から平成33年3月31日まで。	原案可決
市道路線の認定について	新たに4つの路線(637号線、638号線、639号線、640号線)を市道として認定。	原案可決
平成27年度補正予算	一般会計予算に458,325千円を増額。補正後は28,815,251千円。	原案可決

● 市の事務におけるマイナンバーの利用範囲

乳幼児医療費、子ども医療費、ひとり親家庭等の医療費、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額、保育認定に係る利用者負担額、国民健康保険条例による保健事業、重度心身障害者医療費、精神障害者通院医療費、在宅重度心身障害者手当、埼玉県後期高齢者医療に関する条例第3条に規定する検診受診に要する費用

● 勤労福祉センターの指定管理者の指定

応募団体4事業者のうち選考委員会において、審査項目に基づく評価の総合得点は1位がシンコースポーツ・サンワックス共同事業体86.4点で、2位が73.2点という結果でした。同事業者は現指定管理者ということで他団体よりも和光市の施設運営の考え方を十分に理解しており評価項目の中でも特に管理運営の有効性が優位であると判断されました。

共同事業体であるため役割分担が明確になっているのか質問がありましたが、シンコースポーツはトレーニングジム室等のスポーツ部門、サンワックスは施設の維持管理の業者で、これまで通りに事業を継続していくとの答弁がありました。

● 市道路線の認定について

これまで行き止まり道路の認定については将来的に通り返しが期待できることを条件に市道認定をすべきという立場をとってきました。しかし既設の私道について地権者が複数いるため、補修等の維持管理の費用負担等の課題があり、市が管理者となる方が市民にとって望ましいという主旨の市の見解が示されました。これに同意し、市道認定基準の明文化を要望し賛成いたしました。

いはら陽輔の一般質問の要旨

他市による理化学研究所の誘致

問：政府は東京一極集中是正の一環として、政府関係機関の地方移転を推進している。当市に所在する理研も対象となっており、多くの自治体が誘致をしようとしている。和光市としては容認できない事態であるがどのような対策を行っているのか。

答：理研と和光市は長年にわたり良好な関係が形成されており、市の地方創生に際しても極めて重要な施設であることから、様々な移転に対する反対活動を行っている。

9月に市長と理研の理事長と意見交換を行って当市の考えを説明し、その後市から県へ意見書も提出している。10月には県とともにまち・ひと・しごと創生本部に出向き市の考えを説明しており、12月には当市選挙区の衆議院議員で現文部科学大臣政務官に直接要望を行っている。

和光市駅北口の駐輪場整備

問：現在の駅北口第2駐輪場のスペースに3階建ての立体自走式駐輪場が整備される。整備にはBOTという事業方式を採用し、市が土地を無償貸与するかわりに建設費や維持管理費を事業者負担で行い、市の負担が一切ないということである。負担がないのであれば駅北口の駅前広場予定地地下に駐輪場を整備し、北口第2駐輪場の土地は別の用途に有効活用できると思うがいかがか。

答：駅北口広場の地下利用については莫大な総工費になることが想定できることから、費用対効果や今後の自転車利用の状況や駐輪場の需要等も踏まえて、北口土地区画整理事業の推進にあわせて研究していきたい。

家庭における防災意識の啓発

問：掛川市では全戸に配布している防災ガイドマップの中に家庭ごとの避難計画を作成する紙面を設けている。地震、津波、洪水等、災害ごとの避難のタイミング、避難手段、避難場所を記載するようになっている。和光市の防災ガイドマップに導入してはいかがか。

答：和光市の防災ガイドマップでは防災メモ欄を設けており、災害時にいつ避難場所や避難所、家族が離れ離れになった時の集合場所、必要な連絡先を記入できるようにしている。今後ガイドマップを更新する際には見直しを行うので、掛川市の事例も参考にする。

小規模保育事業所から保育園への転園

問：市は小規模保育と連携する保育園を結び付ける仕組みを付属校方式と呼んでおり、平成28年4月に初めて適用される。小規模保育に通う園児は全て付属校となる園に転園できるのか伺う。

答：12月4日現在で4月入所の1次受付を締め切った。小規模保育の受け皿となる連携施設の入所調整は現在行っている。なお、和光市保育の必要性の認定に関する条例第5条8号において地域型保育園に在園している方を連携の優先とすることを定めている。

杭打ち工事データ流用問題

問：旭化成建材が和光市の公共施設建設に携わった件数が2件あり、1件においてデータ流用が確認された。調査の結果、問題はなかったと報告を受けているが心配なニュースがある。一般社団法人コンクリートパイル建設技術協会によると旭化成建材以外の8社において、過去5年間に施工した物件のうち56件のデータ流用が確認されたと発表した。再度点検が必要があると思うが、市の方針を伺う。

答：和光市が過去10年間で実施した杭工事は6件で、6件のうち2件が旭化成建材が実施していた。残りの4件については一般社団法人コンクリートパイル建設技術協会が発表した過去5年間にデータ流用を行った8社56件の中には含まれていなかった。しかし過去5年間の杭工事の全施工箇所において点検が済んでいないことから、既に市では6件の杭工事について職員等による着手をしている。今後は、国土交通省が設置している基礎杭工事問題に関する対策委員会の中間報告が年内に出される予定で、その動向を踏まえ対応していきたい。

※その他、マイナンバー等の質問をいたしました。一般質問の詳細は市議会会議録をご覧ください。

3月定例会の開催予定

2月21日(日)	開会、施政方針に対する質疑
2月22日(月)	提案説明
2月26日(金)	議案に対する質疑
2月29日(月)	常任委員会
3月 1日(火)	常任委員会
3月 2日(水)	常任委員会
3月 3日(木)	常任委員会
3月 4日(金)	市政に対する一般質問
3月 7日(月)	市政に対する一般質問
3月 8日(火)	市政に対する一般質問
3月 9日(水)	市政に対する一般質問
3月14日(月)	委員長報告、質疑
3月16日(水)	討論、採決、閉会

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり

無所属
新人
34歳



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▶ 048-201-0791

E-mail ▶ ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▶ @iharayosuke